

ULTITEC 1000FR

カタログ IIIの化学防護服

本衣服はEU規則2016/425及びその他の参照規格の要件に準拠しています。

表示:
各バーコードは内側と外側のラベルで識別されます。内側のラベルは規則で定義されているように保護等級を示します。またその他の使用に関する関連情報をエンコードするに提供します。外側のラベルは衣類の種類を示します。

1 織物の種類またはブランド

2 タイプ番号又はモデル名

本衣服はPPE指令 EU 2016/425のカテゴリーIIIの要件に適合しています。EU型式審査証明書(モジュールB)EN ISO 13982-1:2004、Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finland, (N.B. 0598)が発行されています。生産の品質保証(モジュールD)との適合性は現在SGS Fimko Oy, Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finland, (N.B. 0598)が調査監督中です。

4 タイプ 5 粒子タイトな衣服

タイプ 6 防水型ブレッシャータな衣服

EN ISO 13982-1:2004+A1:2010 EN 13034:2005+A1:2009

5 本ビブ式カラムは主にガルバニズムに対する保護であることを示します。

6a [] ULTITEC 1000FRバーバーは帯電処理が施され、またEN1149-5:2018が求める静電気保護に準拠しており、有効なためには互換性がある付属品や工具併用のどちらも使用されなければなりません(この注意を参照のこと)。

6b [] 本ビブ式カラム及び三角形はEN 1073-2:2002に対する射線防護を示しています。ただし第4.2条「射撃抵抗」除く

7 サイズ: サイズ

8 サイズ情報:

適切なサイズを選択して下さい。

9 タイプ5グロム: 洗濯しないでください。機械乾燥しないでください。アイロンをかけないでください。ドライクリーニングしないでください。

10 製造日

コンプライアンス責任者:

第5章とEN 1073-2衣服の性能要求を完全に満たすには、手首、足首、首、およびジッパーフラップを含む全ての開いた部分がしっかりと閉じているべきです。それらの種類の保護の適切さ及びパーソナルの付属品と補助器具の組み合わせは利用者の判断に委ねられています。完全な保護を求めるには全ての開口部をしっかりと閉じることなく必要なためには互換性がある付属品や工具併用のどちらも使用されなければなりません(この注意を参照のこと)。

本ビブ式カラム及び三角形はEN 1073-2:2002に対する射線防護を示しています。ただし第4.2条「射撃抵抗」除く

7 尺碼表:

8 戴き方:

9 防護服の着用方法:

10 不可搬移使用

11 製造日期

コンプライアンス責任者:

第5章とEN 1073-2衣服の性能要求を完全に満たすには、手首、足首、首、およびジッパーフラップを含む全ての開いた部分がしっかりと閉じているべきです。それらの種類の保護の適切さ及びパーソナルの付属品と補助器具の組み合わせは利用者の判断に委ねられています。完全な保護を求めるには全ての開口部をしっかりと閉じることなく必要なためには互換性がある付属品や工具併用のどちらも使用されなければなりません(この注意を参照のこと)。

本ビブ式カラム及び三角形はEN 1073-2:2002に対する射線防護を示しています。ただし第4.2条「射撃抵抗」除く

7 尺碼表:

8 戴き方:

9 防護服の着用方法:

10 不可搬移使用

11 製造日期

コンプライアンス責任者:

第5章とEN 1073-2衣服の性能要求を完全に満たすには、手首、足首、首、およびジッパーフラップを含む全ての開いた部分がしっかりと閉じているべきです。それらの種類の保護の適切さ及びパーソナルの付属品と補助器具の組み合わせは利用者の判断に委ねられています。完全な保護を求めるには全ての開口部をしっかりと閉じることなく必要なためには互換性がある付属品や工具併用のどちらも使用されなければなりません(この注意を参照のこと)。

本ビブ式カラム及び三角形はEN 1073-2:2002に対する射線防護を示しています。ただし第4.2条「射撃抵抗」除く

7 尺碼表:

8 戴き方:

9 防護服の着用方法:

10 不可搬移使用

11 製造日期

コンプライアンス責任者:

第5章とEN 1073-2衣服の性能要求を完全に満たすには、手首、足首、首、およびジッパーフラップを含む全ての開いた部分がしっかりと閉じているべきです。それらの種類の保護の適切さ及びパーソナルの付属品と補助器具の組み合わせは利用者の判断に委ねられています。完全な保護を求めるには全ての開口部をしっかりと閉じることなく必要なためには互換性がある付属品や工具併用のどちらも使用されなければなりません(この注意を参照のこと)。

本ビブ式カラム及び三角形はEN 1073-2:2002に対する射線防護を示しています。ただし第4.2条「射撃抵抗」除く

7 尺碼表:

8 戴き方:

9 防護服の着用方法:

10 不可搬移使用

11 製造日期

コンプライアンス責任者:

第5章とEN 1073-2衣服の性能要求を完全に満たすには、手首、足首、首、およびジッパーフラップを含む全ての開いた部分がしっかりと閉じているべきです。それらの種類の保護の適切さ及びパーソナルの付属品と補助器具の組み合わせは利用者の判断に委ねられています。完全な保護を求めるには全ての開口部をしっかりと閉じることなく必要なためには互換性がある付属品や工具併用のどちらも使用されなければなりません(この注意を参照のこと)。

本ビブ式カラム及び三角形はEN 1073-2:2002に対する射線防護を示しています。ただし第4.2条「射撃抵抗」除く

7 尺碼表:

8 戴き方:

9 防護服の着用方法:

10 不可搬移使用

11 製造日期

コンプライアンス責任者:

第5章とEN 1073-2衣服の性能要求を完全に満たすには、手首、足首、首、およびジッパーフラップを含む全ての開いた部分がしっかりと閉じているべきです。それらの種類の保護の適切さ及びパーソナルの付属品と補助器具の組み合わせは利用者の判断に委ねられています。完全な保護を求めるには全ての開口部をしっかりと閉じることなく必要なためには互換性がある付属品や工具併用のどちらも使用されなければなりません(この注意を参照のこと)。

本ビブ式カラム及び三角形はEN 1073-2:2002に対する射線防護を示しています。ただし第4.2条「射撃抵抗」除く

7 尺碼表:

8 戴き方:

9 防護服の着用方法:

10 不可搬移使用

11 製造日期

コンプライアンス責任者:

第5章とEN 1073-2衣服の性能要求を完全に満たすには、手首、足首、首、およびジッパーフラップを含む全ての開いた部分がしっかりと閉じているべきです。それらの種類の保護の適切さ及びパーソナルの付属品と補助器具の組み合わせは利用者の判断に委ねられています。完全な保護を求めるには全ての開口部をしっかりと閉じることなく必要なためには互換性がある付属品や工具併用のどちらも使用されなければなりません(この注意を参照のこと)。

本ビブ式カラム及び三角形はEN 1073-2:2002に対する射線防護を示しています。ただし第4.2条「射撃抵抗」除く

7 尺碼表:

8 戴き方:

9 防護服の着用方法:

10 不可搬移使用

11 製造日期

コンプライアンス責任者:

第5章とEN 1073-2衣服の性能要求を完全に満たすには、手首、足首、首、およびジッパーフラップを含む全ての開いた部分がしっかりと閉じているべきです。それらの種類の保護の適切さ及びパーソナルの付属品と補助器具の組み合わせは利用者の判断に委ねられています。完全な保護を求めるには全ての開口部をしっかりと閉じることなく必要なためには互換性がある付属品や工具併用のどちらも使用されなければなりません(この注意を参照のこと)。

本ビブ式カラム及び三角形はEN 1073-2:2002に対する射線防護を示しています。ただし第4.2条「射撃抵抗」除く

7 尺碼表:

8 戴き方:

9 防護服の着用方法:

10 不可搬移使用

11 製造日期

コンプライアンス責任者:

第5章とEN 1073-2衣服の性能要求を完全に満たすには、手首、足首、首、およびジッパーフラップを含む全ての開いた部分がしっかりと閉じているべきです。それらの種類の保護の適切さ及びパーソナルの付属品と補助器具の組み合わせは利用者の判断に委ねられています。完全な保護を求めるには全ての開口部をしっかりと閉じることなく必要なためには互換性がある付属品や工具併用のどちらも使用されなければなりません(この注意を参照のこと)。

本ビブ式カラム及び三角形はEN 1073-2:2002に対する射線防護を示しています。ただし第4.2条「射撃抵抗」除く

7 尺碼表:

8 戴き方:

9 防護服の着用方法:

10 不可搬移使用

11 製造日期

コンプライアンス責任者:

第5章とEN 1073-2衣服の性能要求を完全に満たすには、手首、足首、首、およびジッパーフラップを含む全ての開いた部分がしっかりと閉じているべきです。それらの種類の保護の適切さ及びパーソナルの付属品と補助器具の組み合わせは利用者の判断に委ねられています。完全な保護を求めるには全ての開口部をしっかりと閉じることなく必要なためには互換性がある付属品や工具併用のどちらも使用されなければなりません(この注意を参照のこと)。

本ビブ式カラム及び三角形はEN 1073-2:2002に対する射線防護を示しています。ただし第4.2条「射撃抵抗」除く

7 尺碼表:

8 戴き方:

9 防護服の着用方法:

10 不可搬移使用

11 製造日期

コンプライアンス責任者:

第5章とEN 1073-2衣服の性能要求を完全に満たすには、手首、足首、首、およびジッパーフラップを含む全ての開いた部分がしっかりと閉じているべきです。それらの種類の保護の適切さ及びパーソナルの付属品と補助器具の組み合わせは利用者の判断に委ねられています。完全な保護を求めるには全ての開口部をしっかりと閉じることなく必要なためには互換性がある付属品や工具併用のどちらも使用されなければなりません(この注意を参照のこと)。

本ビブ式カラム及び三角形はEN 1073-2:2002に対する射線防護を示しています。ただし第4.2条「射撃抵抗」除く

7 尺碼表:

8 戴き方:

9 防護服の着用方法:

10 不可搬移使用

11 製造日期

コンプライアンス責任者:

第5章とEN 1073-2衣服の性能要求を完全に満たすには、手首、足首、首、およびジッパーフラップを含む全ての開いた部分がしっかりと閉じているべきです。それらの種類の保護の適切さ及びパーソナルの付属品と補助器具の組み合わせは利用者の判断に委ねられています。完全な保護を求めるには全ての開口部をしっかりと閉じることなく必要なためには互換性がある付属品や工具併用のどちらも使用されなければなりません(この注意を参照のこと)。

本ビブ式カラム及び三角形はEN 1073-2:2002に対する射線防護を示しています。ただし第4.2条「射撃抵抗」除く

7 尺碼表:

8 戴き方:

9 防護服の着用方法:

10 不可搬移使用

11 製造日期

コンプライアンス責任者:

第5章とEN 1073-2衣服の性能要求を完全に満たすには、手首、足首、首、およびジッパーフラップを含む全ての開いた部分がしっかりと閉じているべきです。それらの種類の保護の適切さ及びパーソナルの付属品と補助器具の組み合わせは利用者の判断に委ねられています。完全な保護を求めるには全ての開口部をしっかりと閉じることなく必要なためには互換性がある付属品や工具併用のどちらも使用されなければなりません(この注意を参照のこと)。

本ビブ式カラム及び三角形はEN 1073-2:2002に対する射線防護を示しています。ただし第4.2条「射撃抵抗」除く

7 尺碼表:

8 戴き方:

9 防護服の着用方法:

10 不可搬移使用

11 製造日期

コンプライアンス責任者:

第5章とEN 1073-2衣服の性能要求を完全に満たすには、手首、足首、首、およびジッパーフラップを含む全ての開いた部分がしっかりと閉じているべきです。それらの種類の保護の適切さ及びパーソナルの付属品と補助器具の組み合わせは利用者の

ULTITEC 1000FR

Ropa de protección química de categoría III

Números de estilo DD410, DD430
Esta prenda cumple con los requisitos del Reglamento de la UE 2016/425 y de cualquier norma referenciada

Símbolos: Cada artículo es identificado con una etiqueta interior y otra exterior. La etiqueta interior indica la clase de protección definida en el reglamento. También proporciona otra información relevante de uso para el usuario final. La etiqueta exterior indica el tipo de prenda.

1. Tipo de ropa o marca

2. Número de estilo o identificación del modelo

3. Los productos que cumplen los requisitos de la EPI de categoría III de acuerdo con el Reglamento Europeo UE 2016/425. La marca de tipo (Módulo B) fue expedida por SGS Fimko Oy, Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finlandia, (N.B. 0598). La conformidad con la garantía de calidad de los certificados de proceso de producción (Modulo D) fue supervisada por SGS Fimko Oy, Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finlandia, (N.B. 0598).

4. Tipo 5: Protección contra partículas. Tipos 6: Ropa ajustada para salpicaduras limitadas EN ISO 13982-1:2004 + A1:2010 EN 13034:2005 + A1:2009

5. Este pictograma muestra que el traje es para la protección contra los productos químicos.

6a) Los buzos ULTITEC 1000FR están tratados antiestáticamente y cumplen con la protección electrostática requerida por la norma EN145-2019, y deben ser utilizados con accesorios y prácticas de trabajo comparables para que sean efectivas (ver nota a continuación).

6b) Este pictograma indica protección radiactiva a EN 1073-2:2002 excepto cláusula 4.2. Resistencia a perforación

7. Información de las telas:

Tamaño S M L XL 2XL 3XL 4XL

Por favor, elija el tamaño:

pecho (cm) 84 - 92 - 100 - 108 - 116 - 124 - 132 - 140

altura (cm) 162 - 170 - 176 - 182 - 188 - 194 - 200 - 206

8. El usuario debe leer estas instrucciones

9. Pictograma de cuidado: No lavar, no secar a máquina, no planchar, no limpiar en seco.

10. No reutilizar

11. Fecha de fabricación

Cumplimiento y responsabilidad:

Para satisfacer plenamente las necesidades de rendimiento de las prendas de los tipos 5/6 y EN 1073-2, todas

las prendas tienen las mallas, los bolsillos y el cuello, incluidos la solapa de la cremallera. Deben seguir las

normas de cinta adhesiva. El usuario será el único juez de la idoneidad para el tipo de protección

requerido y de las combinaciones correctas de los accesorios del buzo y del equipo auxiliar. Para obtener

una protección total, todas las aberturas deben estar cerradas de forma segura, pero el usuario debe

determinar si el efecto de la ropa es el calor y la incineración. Siempre que sea necesario, el usuario debe

reducir o eliminar el efecto de uso de la ropa o accesorios o equipos de ventilación. El

fabricante no se hace responsable de los accidentes causados por un comportamiento inadecuado o una

selección inadecuada de ropa de protección o equipo auxiliar.

La exposición a ciertos productos químicos o a altas concentraciones o presiones, puede requerir mayores

propiedades de la tela del tejido, o en la construcción del traje. Estas condiciones pueden protegerse con

prendas de vestir que cumplen las normas de los tipos 1 a 4, posiblemente, con un material más protector

que las prendas de vestir. Se deben tener cuidado al utilizar cualquier otra prenda que pueda haber sido contaminada. Se debe usar un asistente con guantes para despegar la prenda del usuario, teniendo cuidado de que ningún

contaminante entre en contacto con el asistente o con el usuario.

Armadura de uso:

Los artículos están diseñados para proteger contra sustancias peligrosas y la contaminación tanto del

producto como del personal. Se utilizan típicamente, dependiendo de la severidad de la toxicidad y las

condiciones, para la protección contra partículas en el aire y salpicaduras y rocio limitado. Los requisitos de

rendimiento aplicables a esta prenda de protección química están establecidas en las normas enumeradas

en la parte 1 de la norma EN 13034:2005 para la protección contra partículas de 1 a 2,

2 y 3. (EN 60079-10-17 y EN 60079-10-21) en la parte 2 de la norma EN 13034:2005 para la protección de

electroestática. La ropa de protección contra partículas debe ser adecuada para el uso en entornos de laboratorio.

Además, está diseñado para su uso en casos de exposición a aerosoles líquidos de pulverización ligeros o

salpicaduras de bajo volumen de presión en los que no se requiere una barrera de permeación completa.

Algunas prendas de vestir están diseñadas para proteger contra sustancias peligrosas y la contaminación tanto del

producto como del personal. Se utilizan típicamente, dependiendo de la severidad de la toxicidad y las

condiciones, para la protección contra partículas en el aire y salpicaduras y rocio limitado. Los requisitos de

rendimiento aplicables a esta prenda de protección química están establecidas en las normas enumeradas

en la parte 1 de la norma EN 13034:2005 para la protección contra partículas de 1 a 2,

2 y 3. (EN 60079-10-17 y EN 60079-10-21) en la parte 2 de la norma EN 13034:2005 para la protección de

electroestática. La ropa de protección contra partículas debe ser adecuada para el uso en entornos de laboratorio.

Además, está diseñado para su uso en casos de exposición a aerosoles líquidos de pulverización ligeros o

salpicaduras de bajo volumen de presión en los que no se requiere una barrera de permeación completa.

Algunas prendas de vestir están diseñadas para proteger contra sustancias peligrosas y la contaminación tanto del

producto como del personal. Se utilizan típicamente, dependiendo de la severidad de la toxicidad y las

condiciones, para la protección contra partículas en el aire y salpicaduras y rocio limitado. Los requisitos de

rendimiento aplicables a esta prenda de protección química están establecidas en las normas enumeradas

en la parte 1 de la norma EN 13034:2005 para la protección contra partículas de 1 a 2,

2 y 3. (EN 60079-10-17 y EN 60079-10-21) en la parte 2 de la norma EN 13034:2005 para la protección de

electroestática. La ropa de protección contra partículas debe ser adecuada para el uso en entornos de laboratorio.

Además, está diseñado para su uso en casos de exposición a aerosoles líquidos de pulverización ligeros o

salpicaduras de bajo volumen de presión en los que no se requiere una barrera de permeación completa.

Algunas prendas de vestir están diseñadas para proteger contra sustancias peligrosas y la contaminación tanto del

producto como del personal. Se utilizan típicamente, dependiendo de la severidad de la toxicidad y las

condiciones, para la protección contra partículas en el aire y salpicaduras y rocio limitado. Los requisitos de

rendimiento aplicables a esta prenda de protección química están establecidas en las normas enumeradas

en la parte 1 de la norma EN 13034:2005 para la protección contra partículas de 1 a 2,

2 y 3. (EN 60079-10-17 y EN 60079-10-21) en la parte 2 de la norma EN 13034:2005 para la protección de

electroestática. La ropa de protección contra partículas debe ser adecuada para el uso en entornos de laboratorio.

Además, está diseñado para su uso en casos de exposición a aerosoles líquidos de pulverización ligeros o

salpicaduras de bajo volumen de presión en los que no se requiere una barrera de permeación completa.

Algunas prendas de vestir están diseñadas para proteger contra sustancias peligrosas y la contaminación tanto del

producto como del personal. Se utilizan típicamente, dependiendo de la severidad de la toxicidad y las

condiciones, para la protección contra partículas en el aire y salpicaduras y rocio limitado. Los requisitos de

rendimiento aplicables a esta prenda de protección química están establecidas en las normas enumeradas

en la parte 1 de la norma EN 13034:2005 para la protección contra partículas de 1 a 2,

2 y 3. (EN 60079-10-17 y EN 60079-10-21) en la parte 2 de la norma EN 13034:2005 para la protección de

electroestática. La ropa de protección contra partículas debe ser adecuada para el uso en entornos de laboratorio.

Además, está diseñado para su uso en casos de exposición a aerosoles líquidos de pulverización ligeros o

salpicaduras de bajo volumen de presión en los que no se requiere una barrera de permeación completa.

Algunas prendas de vestir están diseñadas para proteger contra sustancias peligrosas y la contaminación tanto del

producto como del personal. Se utilizan típicamente, dependiendo de la severidad de la toxicidad y las

condiciones, para la protección contra partículas en el aire y salpicaduras y rocio limitado. Los requisitos de

rendimiento aplicables a esta prenda de protección química están establecidas en las normas enumeradas

en la parte 1 de la norma EN 13034:2005 para la protección contra partículas de 1 a 2,

2 y 3. (EN 60079-10-17 y EN 60079-10-21) en la parte 2 de la norma EN 13034:2005 para la protección de

electroestática. La ropa de protección contra partículas debe ser adecuada para el uso en entornos de laboratorio.

Además, está diseñado para su uso en casos de exposición a aerosoles líquidos de pulverización ligeros o

salpicaduras de bajo volumen de presión en los que no se requiere una barrera de permeación completa.

Algunas prendas de vestir están diseñadas para proteger contra sustancias peligrosas y la contaminación tanto del

producto como del personal. Se utilizan típicamente, dependiendo de la severidad de la toxicidad y las

condiciones, para la protección contra partículas en el aire y salpicaduras y rocio limitado. Los requisitos de

rendimiento aplicables a esta prenda de protección química están establecidas en las normas enumeradas

en la parte 1 de la norma EN 13034:2005 para la protección contra partículas de 1 a 2,

2 y 3. (EN 60079-10-17 y EN 60079-10-21) en la parte 2 de la norma EN 13034:2005 para la protección de

electroestática. La ropa de protección contra partículas debe ser adecuada para el uso en entornos de laboratorio.

Además, está diseñado para su uso en casos de exposición a aerosoles líquidos de pulverización ligeros o

salpicaduras de bajo volumen de presión en los que no se requiere una barrera de permeación completa.

Algunas prendas de vestir están diseñadas para proteger contra sustancias peligrosas y la contaminación tanto del

producto como del personal. Se utilizan típicamente, dependiendo de la severidad de la toxicidad y las

condiciones, para la protección contra partículas en el aire y salpicaduras y rocio limitado. Los requisitos de

rendimiento aplicables a esta prenda de protección química están establecidas en las normas enumeradas

en la parte 1 de la norma EN 13034:2005 para la protección contra partículas de 1 a 2,

2 y 3. (EN 60079-10-17 y EN 60079-10-21) en la parte 2 de la norma EN 13034:2005 para la protección de

electroestática. La ropa de protección contra partículas debe ser adecuada para el uso en entornos de laboratorio.

Además, está diseñado para su uso en casos de exposición a aerosoles líquidos de pulverización ligeros o

salpicaduras de bajo volumen de presión en los que no se requiere una barrera de permeación completa.

Algunas prendas de vestir están diseñadas para proteger contra sustancias peligrosas y la contaminación tanto del

producto como del personal. Se utilizan típicamente, dependiendo de la severidad de la toxicidad y las

condiciones, para la protección contra partículas en el aire y salpicaduras y rocio limitado. Los requisitos de

rendimiento aplicables a esta prenda de protección química están establecidas en las normas enumeradas

en la parte 1 de la norma EN 13034:2005 para la protección contra partículas de 1 a 2,

2 y 3. (EN 60079-10-17 y EN 60079-10-21) en la parte 2 de la norma EN 13034:2005 para la protección de

electroestática. La ropa de protección contra partículas debe ser adecuada para el uso en entornos de laboratorio.

Además, está diseñado para su uso en casos de exposición a aerosoles líquidos de pulverización ligeros o

salpicaduras de bajo volumen de presión en los que no se requiere una barrera de permeación completa.

Algunas prendas de vestir están diseñadas para proteger contra sustancias peligrosas y la contaminación tanto del

producto como del personal. Se utilizan típicamente, dependiendo de la severidad de la toxicidad y las

condiciones, para la protección contra partículas en el aire y salpicaduras y rocio limitado. Los requisitos de

rendimiento aplicables a esta prenda de protección química están establecidas en las normas enumeradas

en la parte 1 de la norma EN 13034:2005 para la protección contra partículas de 1 a 2,

2 y 3. (EN 60079-10-17 y EN